



小学94年
中学75年
学園2年

口之島学園の教育

令和7年度4月現在
前期生3名後期生7名
学級数 4

県・地区・村の基本目標

学習指導要領における教育の基本

県：夢や希望を実現しともに未来を創る（略）

地区：思いをつなぎ夢をかなえる（略）

村：夢や希望を実現し共に未来を創る十島の人づくり

主体的・対話的で深い学びの実現

◇基礎的・基本的知識・技能の習得
（思考力・判断力・表現力等の育成）

◇体力向上、食育、安全、健康の保持増進

【校訓】

かしこく：チャレンジ
やさしく：優しく
たくましく：元気

【学校教育目標】

夢や希望をもち、共に認め高め合う
口之島の子どもを育てる

学校経営キーワード

- 三つの構え
心・身・物構え
- 夢とあこがれ
- 島民家庭と共に

【めざす教師の姿】

- 子どもに寄り添い
よりよく導く教師
- 互いの特性を認め
高め合う教師
- 保護者・島民の声に傾聴し
教育に活かす教師
- 業務改善と健康の保持
増進に心がける教師

【めざす子どもの姿】

- よく考え自信をもって表現する子ども（知）
- 自他を認め、大切にできる子ども（徳）
- 健康でちょっとがまんできる子ども（体）

【めざす学校の姿】

- 子どもが学ぶ喜びを実感し
安心できる学校
（自己有用感の高揚）
- 明るく美しく整った学校
- 保護者や島民から信頼さ
れる学校

覇気と礼儀

研究テーマ：「ふるさとを巣立ち、未来をたくましく生きる児童生徒の育成」
～自己肯定感・自己有用感を育む教育活動の実践を通して～

数値目標

- 学力の向上
 - 各種検査：全科目・領域
全国・県平均以上
- 生徒指導の充実
 - いじめ不登校：0
 - 自己肯定感：9割
 - 読書：前80後100冊
- 保健・安全の充実
 - 事故：0 受診率：8割
 - 体力・運動能力調査
：全種目前学年超え
 - 自主的体力づくり：毎朝
- 人権教育の充実
 - 人権講話：3回以上
- ふるさと教育
 - 地域学校協働活動
 - トカラ科推進 毎月
- 服務規律の厳正確保と
適切な勤務時間の管理
 - 服務違反：0

重点課題

- 基礎・基本の定着と表現力の向上
 - (1) 学びの基盤となる「三つの構え」の醸成
 - (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた
授業改善（個別最適、協働的な学び）
○諸学力調査分析・「学びの羅針盤」等の活用
○めあての明確化 ○非認知スキルの再認識
○ラスト10分のジャッジ（メタ認知、見届け）
 - (3) 複式学習指導の充実

2 心豊かで思いやりのある言動の涵養

- (1) Momに基づく人権教育
 - いじめの根絶（SOSの受け止め）
 - 支持的風土、仲間づくり（SGE）
- (2) 特別の教科道徳の充実
 - 「いじめ問題を考える週間」の取組
 - 成長の累積と還元
- (3) 発達段階に応じた情報モラル教育強化

4 体力・気力づくりの充実

- (1) 自主的運動の継続（一輪車、ボール運動など）
- (2) 体力・運動能力調査結果を活用した個別指導
- (3) 口之島の自然環境の活用
・カヌー、水泳学習等

5 ふるさと教育の充実

- (1) 地域人材（地域学校協働活動）の充実
- (2) 豊かな体験活動【口之島ならではの】
・タケノコ採り、追い込み漁、タモトユリ、農園等

【島民・関係機関との連携】

- 地域と共に歩む
○義務教育学校のよさ
理解促進（2年目）
- 双方向的な協力
貢献関係の構築

【将来を見据えた家庭教育の促進】

- 自己肯定感・有用感を育む
- 望ましい生活習慣の定着
・学校保健委員会との連携
- 家庭学習の見届け
- 情報機器等の望ましい使用

「人権尊重」
全教育活動推進の
基底

我は島の子、強い心

